

みんな考えてみよう 市町村合併

「これからの市町村合併と県の取り組みについて」

全国的に進められている市町村合併。全国と県内の状況を比べながら、今年三月に策定した「沖縄県市町村合併推進構想」についてご紹介します。



これまでの市町村合併

●全国の合併状況は？

平成十一年三月末に三、二二三あった市町村の数は、多くの市町村合併が行われたため、平成十八年三月末には一、八二一と、半数近くになりました。

これからの市町村合併

●市町村合併は一段落したのではないのでしょうか？

市町村を取り巻く環境は、地方分権の進展、少子・高齢化社会の進行、日常生活圏の拡大、国・地方を通じた厳しい財政状況など大きく変化しています。

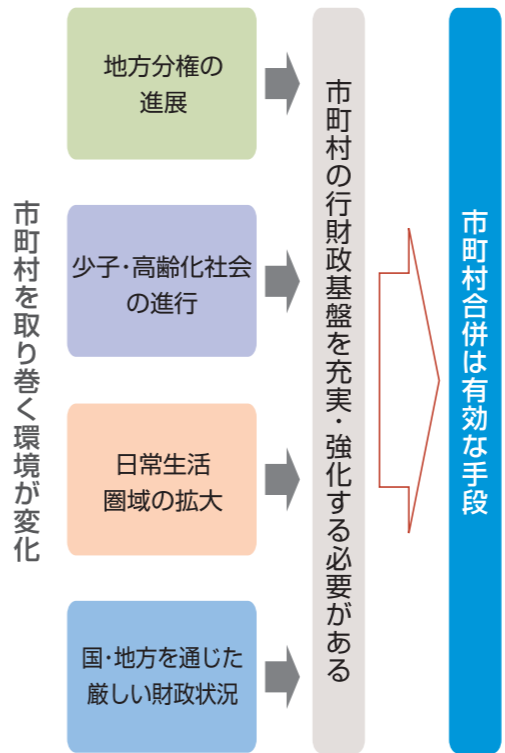
●県内の合併状況は？

県内では、平成十四年の久米島町誕生以降、平成十七年四月にうるま市、同年十月に宮古島市、十八年一月に南城市、八重瀬町と合わせて五つの市町が誕生しました。

それにより、市町村数は平成十一年三月末の五十三から平成十八年三月末には二割程度減の四十一になりました。しかし、全国と比較すると市町村合併は遅れているのが現状です。

そのため県では、「行政サービスを維持・向上するためには、市町村合併が有効な手段である」と考えており、沖縄県市町村合併促進審議会の答申を踏まえて、今年三月に「沖縄県市町村合併推進構想」を策定しました。今後も引き続き、積極的に自主的な市町村合併を推進していきます。

なぜ、市町村合併を進める必要があるのでしょうか？



沖縄県市町村合併 推進構想について

●構想の内容は？

この構想では、市町村合併の背景として、市町村を取り巻く環境の大きな変化を上げ、各市町村の人口や市町村の行財政運営等の状況・将来の見通しを整理し、それらを踏まえた上で「地域の特性、歴史や文化、個性を大事にする」ことなどの、自主的な市町村合併に関する県の基本的な考え方を示しています。

また、九つの構想対象市町村の組合せを示すとともに、自主的な市町村の合併を推進するために必要な措置を定めています。

市町村合併は地域の将来に関わる大切なことですので、地域の皆様も市町村合併について考え、十分に議論していただきたいと考えています。

●市町村の組合せは？

構想対象市町村の組合せは、総務大臣の基本指針で示された生活圏域一体型、行政権能充実型、小規模市町村型の三類型に加え、離島町村における地理的特性や地域意向を踏まえ、各市町村長・議員、県民アンケート、通勤・通学や買い物動向調査、歴史的・文化的特性、これまでの取組経緯などに基づき、組合せを示しています。

●県の役割は？

県は自主的な市町村の合併を進めるため、地域に対する広報・啓発、情報提供や、合併協議会への人的支援、合併市町村への財政的支援などを行います。

また、関係市町村や沖縄県市町村合併促進審議会の意見などを十分踏まえ、合意の上で、合併協議会設置の勧告、合併協議会に対するあっせん・調停などを行うことができます。

